

# 未然に詐欺被害防ぐ

宇治署

## バイク便業者に感謝状

オレオレ詐欺の被害を未然に防いだとして、バイク便業者を運営する株式会社シスコ(京都市南区)の代表取締役荒木要さん(50)に7日、宇治署から感謝状が贈られた。

先月26日、宇治市の男性(80歳代)から、息子を騙る男が指定する大阪府枚方市の事務所へ封筒の配達依頼を受けたが、バイク便業者では珍しい個人客で

あること、固定電話番号が書かれていないことなどから不審に思った荒木さんは、依頼客に確認電話、届け先事務所をインターネットなどで検索するなど対応。その後110番通報した。

配達した男性ライター(40)や、息子を騙る男からの催促電話に対応した女性スタッフには出来る限り時間を稼ごうとする指示を

などし、1100万円という高額のオレオレ詐欺事件の被害を未然に防止した。

今年1月24日に近隣府県のバイク便業者で振り込み詐欺の被害が起ったことを受け、荒木さんも所属する「日本バイク便共同組合」では、情報を共有し、対応策ガイドを作成していた。今回の未然防止は、事前知識が活きた形となった。

荒木さんは「こういった場合、相談できる窓口があれば助かる」と話し、栗田幹典署長は「今後の課題にしていきたい」と話していた。

今年1、2月に起きた府内での振り込み詐欺などの特殊詐欺被害は20件(前年4件増)で、被害額は総額約8000万円。同署管内においては、2月に宇治市でオレオレ詐欺被害が1件起きている。

【西井紅音】  
【写真は栗田署長から感謝状を受ける荒木さん】

